

**現在地** [トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [企業・事業者](#) > [都市計画](#) > [まちづくり](#) > [みどり豊かなまちづくりのための包括連携協定を締結しました！](#)

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [企業・事業者](#) > [都市計画](#) > [景観](#) > [みどり豊かなまちづくりのための包括連携協定を締結しました！](#)

## みどり豊かなまちづくりのための包括連携協定を締結しました！

更新日：2022年4月7日更新

### みどり豊かなまちづくりのための包括連携協定を締結しました！

3月28日（月曜日）、公益財団法人都市緑化機構と「みどり豊かなまちづくりのための包括連携協定」を締結しました。

この協定により、それぞれが進める都市緑化の推進やみどり豊かなまちづくりを相互協力のもとに進めていくことができます。



### 公益財団法人都市緑化機構とは

平成25年4月1日から「公益財団法人都市緑化機構」として、内閣総理大臣の認定を受け、都市に緑をつくり、まもり、育てる活動に携わる市民、事業者、公共団体等による様々な取り組みを支援するとともに、都市の緑に関する調査研究、情報提供、普及啓発などを通して、緑豊かなまちづくりに貢献している団体です。

### これまでの取り組み

○公益財団法人都市緑化機構のご紹介により、緑を活用した都市空間の快適性を高める緑化技術に取り組む企業のご協力のもと、緑を活かしたベンチなどが設置（下表参照）され、市民の憩いの場となっています。

名称	設置場所	協力企業
オーニングベンチ	北朝霞駅東口広場	ダイトウテクノグリーン株式会社
バイオシェルター「雅涼庵」	シンボルロード 北口広場	株式会社石勝エクステリア
木かげのトンネル	シンボルロード 中央広場	東鉄工業株式会社

○そのほか、令和3年度公益財団法人都市緑化機構によるユニバーサルデザイン施設提供事業に応募し、シンボルロード南口広場に「ちょっとカウンター」を2基設置しました。

# 市内循環バス運賃改定の検討について

## 市内循環バスを取り巻く現在の状況

### ■運行経費の推移

バス経費（車両償却費除く）

年度	経費（円）	前年差（円）
H 2 9	103,985,803	
H 3 0	104,984,220	998,417
R 元	107,403,992	2,419,772
R 2	117,487,684	10,083,692
R 3	118,475,020	987,336
R 4	121,067,418	2,592,398

**運行経費は約 16%増加**

**（約 1,700 万円増加）**

※直近年度と経費差が最大となる年度の比較  
（R4 年度と H29 年度の比較）

（増額の主な要因）

- ・ 人件費→約 700 万円増加
- ・ 燃料油脂費→約 300 万円増加

### ■運賃収入・輸送人員の推移

運賃収入（税抜き）

年度	運賃収入（円）	前年差（円）	（参考） 輸送人員
H 2 9	43,585,657		393,437
H 3 0	45,227,325	1,641,668	418,328
R 元	44,902,179	△325,146	415,286
R 2	30,760,560	△14,141,619	291,774
R 3	38,327,178	7,566,618	334,493

**運賃収入は約 15%減少**

**（約 700 万円減少）**

※直近年度と収入差が最大となる年度の比較  
（R3 年度と H30 年度の比較）

- ・ コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は運賃収入が約 30%減少
- ・ 令和 3 年度は前年より増加したが、コロナ前の水準には戻っていない。

### ■補償料の推移

年度	総経費（円）	運賃収入（円）	補償料（円）	前年差（円）	収支率
H 2 9	122,641,103	43,585,657	79,055,446		35.5%
H 3 0	125,013,593	45,227,325	86,516,298	7,460,852	36.2%
R 元	132,346,338	44,902,179	87,444,159	927,861	33.9%
R 2	138,246,740	30,760,560	107,486,180	20,042,021	22.3%
R 3	136,519,107	38,327,178	98,191,929	△9,294,251	28.1%

☛ **公共交通空白地区への対応拡大により運行経費・補償料のさらなる拡大が確実な状況**

### ■市内循環バス運賃改定の変遷

平成 6 年 市内循環バス運行開始

運賃：大人 170 円～200 円 小児 90 円～100 円

平成 16 年 運賃改定

運賃：大人 150 円 小児 80 円 ※以降、改定なし

## ■近隣市の状況

自治体	大人運賃（円）	小児運賃（円）
和光市	150	80
新座市	150	100
富士見市	200	100
ふじみ野市	200	100
三芳町	220	110

## ■交通事業者の運賃改定の動き

事業者	値上げ額	開始時期	備考
西鉄バス	10～150円	令和4年3月19日	24年ぶりの値上げ
東武バス日光	20～200円	令和4年4月1日	29年ぶりの値上げ
京都市バス	60円	令和4年6月1日	一部区間のみ
JR 東日本	10円	令和5年3月頃	バリアフリー対応
JR 西日本	10円～40円	令和5年4月1日	民営化以降初の値上げ

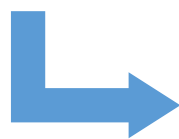
## ■運賃改定による試算⇒路線バスの初乗り運賃との均衡

○現状
大人：150円（小児：80円）（幼児以下：無料）
H30 運賃収入：48,845,511円
R3 運賃収入：42,159,896円
※税込み



○改定（案）
大人：180円（小児：90円）（幼児以下：無料）
H30 想定収入：58,614,613円
R3 想定収入：50,591,875円
※税込み

※値上げによる乗客の変動がないと仮定



【H30】58,614,613円－48,845,511円＝ <b>9,769,102円</b> の増収見込み
【R3】50,591,875円－42,159,896円＝ <b>8,431,979円</b> の増収見込み

## ■その他

- ・運賃及び料金に関する国土交通省の見解  
 ※コミュニティバスの導入に関するガイドライン（国土交通省資料）より抜粋

### （４）運賃及び料金等

一般乗合旅客自動車運送事業者に委託して運送を行う場合の運賃料金については、他の旅客自動車運送事業者との不当競争を引き起こす恐れがないこと、財政負担を踏まえつつ、安全運航に必要な費用を確保できること及び持続的な運行が可能であることにつき、十分に検討する必要がある。